

報道関係 各位

## オンラインコミュニケーションに関する調査2021

コロナ禍前より『報・連・相』が「しづらくなった」63%

web会議を利用する人の44%が「web会議で思わぬ珍事」に遭遇

珍事遭遇率 「家庭では居場所がない上司の声・映像」3%、「夫婦喧嘩の声・映像」2%、「上司の甘え声」1%

web会議あるある 3位「いいことを言ったのにミュートになっている」、2位「会議をすっぽかしてしまう」、1位は？

web会議で画面越しに見るだけでもドキドキしそうな芸能人 1位「木村拓哉さん」

孤独を感じがちなテレワーク、テレワーク中に隣にいてほしいアニメキャラ 1位「ドラえもん」がダントツ、2位「電門炭治郎」

株式会社クオリティア（東京都中央区、代表取締役：松田 賢）は、2021年11月19日～11月22日の4日間、全国の20歳～59歳のビジネスパーソン（自営業・フリーランスは除く）で週に3日以上オンラインコミュニケーションツール（メール・web会議・チャットのいずれか）を利用している人を対象に「オンラインコミュニケーションに関する調査」を実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。（調査協力機関：ネットエイジア株式会社）

### コロナ禍前と比べたコミュニケーションの変化

P.2-P.3

- コロナ禍前よりメールの量が「増えた」81%
- コロナ禍前よりコミュニケーションの取りやすさが「低下した」75%
- コロナ禍前よりコミュニケーションの質が「低下した」71%
- コロナ禍前より『報・連・相』が「しづらくなった」63%

### 仕事におけるオンラインコミュニケーション事情

P.4-P.7

- web会議を利用する人の44%が「web会議で思わぬ珍事」に遭遇
- web会議で遭遇した思わぬ珍事 1位「自宅のチャイム音」2位「普段の家族の会話」3位「散らかっている部屋の映像」4位「子どもが走り回っている映像」5位「ペットが走り回っている映像」
- 珍事遭遇率 「家庭では居場所がない上司の声・映像」3%、「夫婦喧嘩の声・映像」2%、「上司の甘え声」1%
- 仕事におけるオンラインコミュニケーションあるある
  - メールあるある 1位「誤字・誤変換」2位「ファイルの添付忘れ」3位「書きかけで送信」
  - チャットあるある 1位「誤字・誤変換」2位「書きかけで送信」3位「大事な内容が他の会話に埋もれてしまう」
  - web会議あるある 3位「いいことを言ったのにミュートになっている」、2位「会議をすっぽかしてしまう」、1位は？
- オンラインコミュニケーションでのセキュリティに関するミス 35%が経験 テレワーカーでは46%が経験
- オンラインコミュニケーションでのセキュリティに関するミス TOP5 「違う相手にメール送信」「メールに違うファイルを添付」「メールでパスをかけずにファイル送信」「違う相手にチャット送信」「メールで送ってはいけないファイルを送信」

### オンラインコミュニケーション関連のイメージに合う有名人・アニメキャラ

P.8-P.9

- web会議で画面越しに見るだけでもドキドキしそうな芸能人 1位「木村拓哉さん」
  - 男性回答1位「綾瀬はるかさん」2位「新垣結衣さん」、女性回答1位「佐藤健さん」2位「木村拓哉さん」
- 運動不足になりがちなテレワーク、一緒に身体を動かしたいスポーツ選手 3位「水谷隼さん」、2位「石川佳純さん」、1位は？
- 報・連・相がしづらいテレワーク、積極的に部下に声掛けをしてくれそうな歴史上の人物 1位「徳川家康」2位「坂本龍馬」
- 孤独を感じがちなテレワーク、テレワーク中に隣にいてほしいアニメキャラ 1位「ドラえもん」がダントツ、2位「電門炭治郎」

■ 本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先 ■

株式会社クオリティア 営業本部マーケティング部 担当：稲垣 TEL：03-5623-2532 E-mail：[press\\_pr@qualitia.co.jp](mailto:press_pr@qualitia.co.jp)

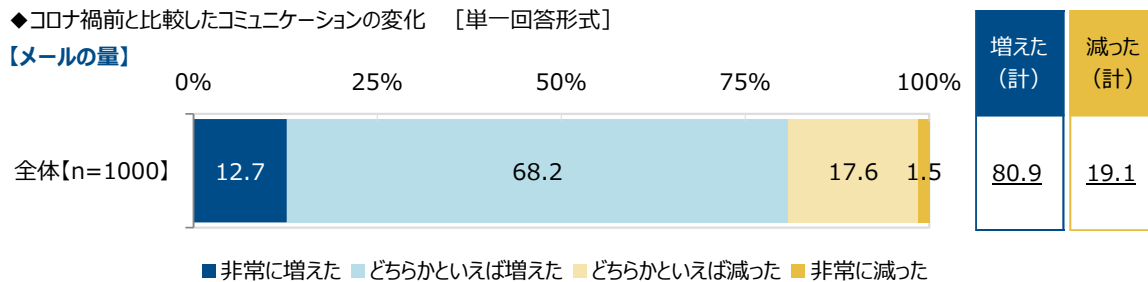
## 調査結果

### 《コロナ禍前と比較したコミュニケーションの変化》

- **コロナ禍前よりメールの量が「増えた」81%**
- **コロナ禍前よりコミュニケーションの取りやすさが「低下した」75%**

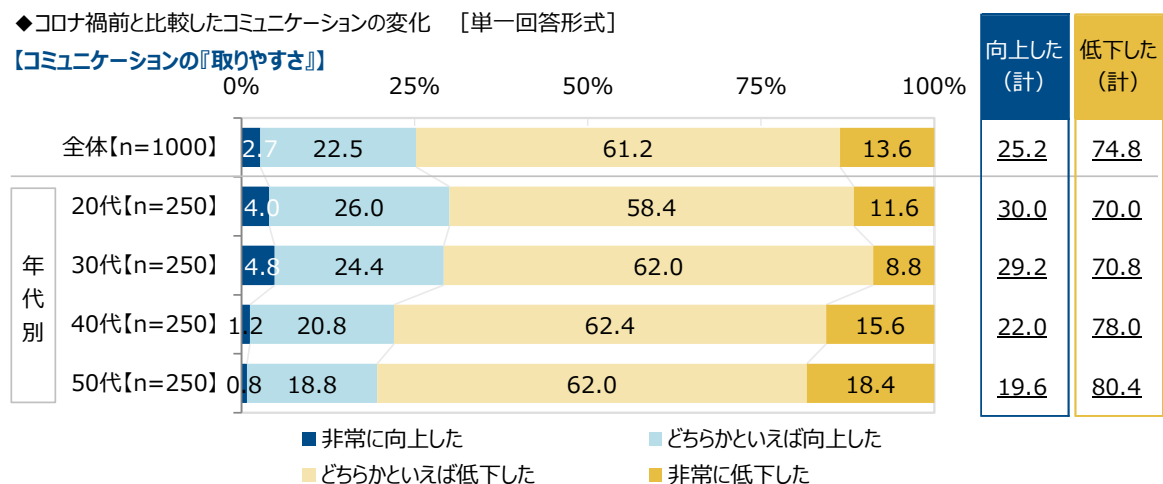
全国の20歳～59歳のビジネスパーソン（自営業・フリーランスは除く）で週に3日以上オンラインコミュニケーションツール（メール・web会議システム・チャットのいずれか）を利用している人1,000名（全回答者）に、コロナ禍前と比較したコミュニケーションの変化について質問しました。

全回答者（1,000名）に、コロナ禍前と比べてメールの量が増えたか、減ったか聞いたところ、「非常に増えた」が12.7%、「どちらかといえば増えた」が68.2%で、合計した『増えた（計）』は80.9%、「非常に減った」が1.5%、「どちらかといえば減った」が17.6%で、合計した『減った（計）』は19.1%となりました。コロナ禍前よりメール量が増えたという人が大多数のようです。



次に、全回答者（1,000名）に、コロナ禍前と比べてコミュニケーションの『取りやすさ』が向上したか、低下したか聞いたところ、「非常に向上した」が2.7%、「どちらかといえば向上した」が22.5%で、合計した『向上した（計）』は25.2%、「非常に低下した」が13.6%、「どちらかといえば低下した」が61.2%で、合計した『低下した（計）』は74.8%となりました。

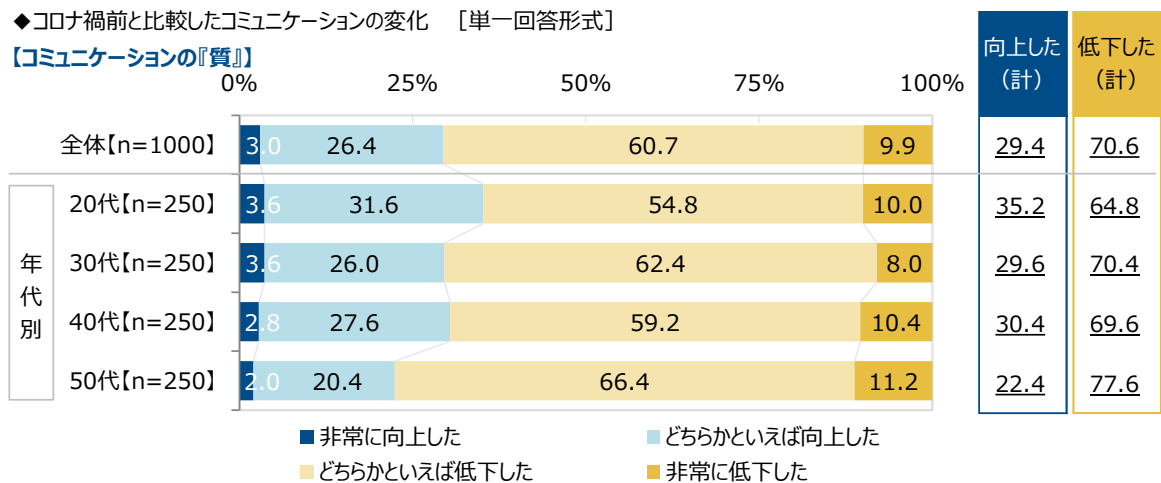
年代別にみると、『低下した（計）』は、20代では70.0%、30代では70.8%と20代と30代では7割でしたが、40代では78.0%、50代では80.4%と40代と50代では8割前後となりました。



- コロナ禍前よりコミュニケーションの質が「低下した」71%
- コロナ禍前より『報・連・相』が「しづらくなった」63%

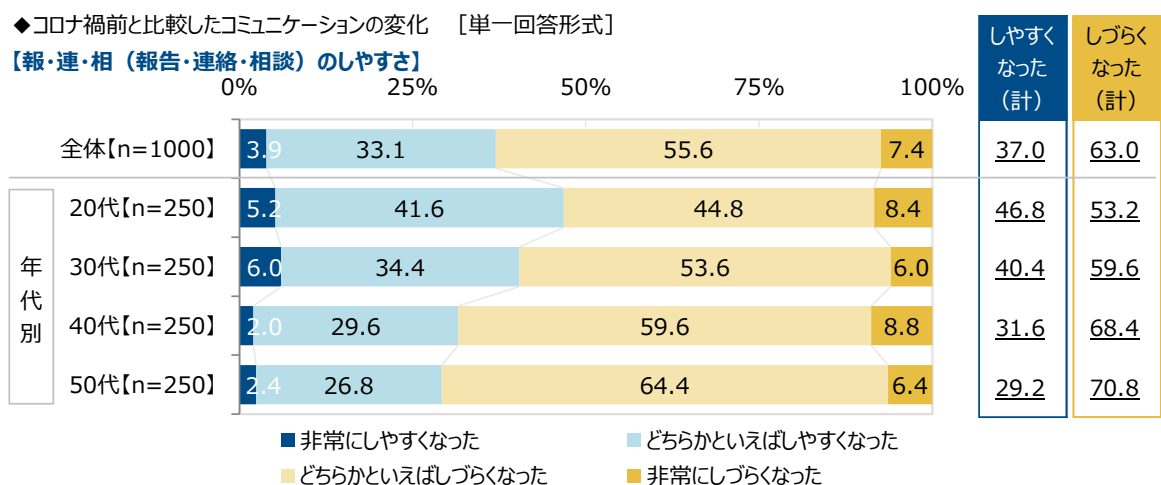
また、コロナ禍前と比べてコミュニケーションの『質』が向上したか、低下したか聞いたところ、「非常に向上した」が3.0%、「どちらかといえば向上した」が26.4%で、合計した『向上した（計）』は29.4%、「非常に低下した」が9.9%、「どちらかといえば低下した」が60.7%で、合計した『低下した（計）』は70.6%となりました。コミュニケーションが取りづらくなったことでコミュニケーションの質も低下してしまうという悪循環に陥っている人が多いのではないのでしょうか。

年代別にみると、『低下した（計）』は、20代64.8%、30代70.4%、40代69.6%、50代77.6%となり、コミュニケーションの『取りやすさ』と同様、50代が最も低下を感じている結果となりました。



そして、コロナ禍前と比べて報・連・相（報告・連絡・相談）がしやすくなったか、しづらくなったか聞いたところ、「非常にしやすくなった」が3.9%、「どちらかといえばしやすくなった」が33.1%で、合計した『しやすくなった（計）』は37.0%、一方、「非常にしづらくなった」が7.4%、「どちらかといえばしづらくなった」が55.6%で、合計した『しづらくなった（計）』は63.0%となりました。

年代別にみると、『しづらくなった（計）』は、20代53.2%、30代59.6%、40代68.4%、50代70.8%と、年代が上がるほど高くなりました。



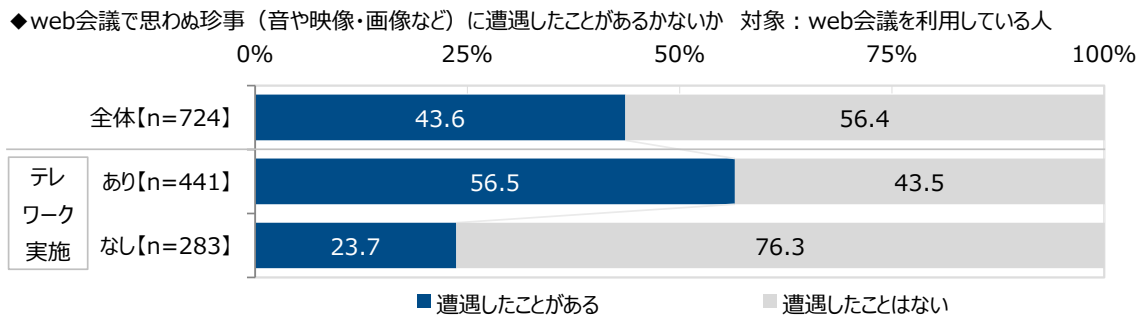
## 《仕事におけるオンラインコミュニケーション事情》

- web会議を利用する人の44%が「web会議で思わぬ珍事」に遭遇
- web会議で遭遇した思わぬ珍事 1位「自宅のチャイム音」2位「普段の家族の会話」3位「散らかっている部屋の映像」4位「子どもが走り回っている映像」5位「ペットが走り回っている映像」
- 珍事遭遇率 「家庭では居場所がない上司の声・映像」3%、「夫婦喧嘩の声・映像」2%、「上司の甘え声」1%

続いて、web会議を利用している人（724名）にweb会議での思わぬ珍事（音や映像・画像など）について質問しました。

まず、web会議で思わぬ珍事に遭遇したことがあるか、ないかをみると、「遭遇したことがある」は43.6%、「遭遇したことはない」は56.4%となり、web会議中に珍事に遭遇したという人が半数近くなりました。

テレワークの実施状況別にみると、テレワークをすることがある人では「遭遇したことがある」は56.5%、テレワークをすることがない人では「遭遇したことがある」は23.7%となりました。



それでは、web会議中に、どのような珍事に遭遇してしまったのでしょうか。

web会議を利用している人（724名）の回答をみると、1位「自宅のチャイム音」（18.2%）、2位「普段の家族の会話」（11.0%）、3位「散らかっている部屋の映像」（8.8%）、4位「子どもが走り回っている映像」（8.1%）、5位「ペットが走り回っている映像」（6.2%）となりました。web会議中に、テレワークをしている参加者の生活感あふれる音や映像が飛び込んでくることに遭遇した人が多いようです。そのほか、「変顔や顔面ドアップでフリーズ」（5.1%）、「家庭では居場所がない上司の声・映像」（3.3%）、「家族の怒鳴り声」（2.5%）、「着替えなど準備中の映像」（2.1%）、「夫婦喧嘩の声・映像」（1.7%）、「上司の甘え声」（0.8%）といった聞かれたり見られたりすると恥ずかしい音声・映像や、「仕事をサボっている声・映像」（2.9%）、「爆睡している映像」（2.2%）、「こっそり飲酒している映像」（1.7%）といった仕事をしていないことがバレてしまう音声・映像に遭遇したという回答もみられました。

◆web会議で遭遇した思わぬ珍事（音や映像・画像など） [複数回答形式]  
対象：web会議を利用している人

	全体【n=724】	%		全体【n=724】	%
1位	自宅のチャイム音	18.2	11位	家族の怒鳴り声	2.5
2位	普段の家族の会話	11.0		出席者の顔がキャラクター表示	2.5
3位	散らかっている部屋の映像	8.8	13位	画面共有で個人的な写真画像を表示	2.3
4位	子どもが走り回っている映像	8.1	14位	マイクに気づいていない鼻歌	2.2
5位	ペットが走り回っている映像	6.2		爆睡している映像	2.2
6位	マイクに気づいていない愚痴・暴言	5.7	16位	着替えなど準備中の映像	2.1
7位	変顔や顔面ドアップでフリーズ	5.1		夫婦喧嘩の声・映像	1.7
8位	家庭では居場所がない上司の声・映像	3.3	17位	画面共有で個人的な検索履歴を表示	1.7
9位	家族からの突然の挨拶	3.0		こっそり飲酒している映像	1.7
10位	仕事をサボっている声・映像	2.9	20位	上司の甘え声	0.8

## ● 仕事におけるオンラインコミュニケーションあるある

メールあるある 1位「誤字・誤変換」2位「ファイルの添付忘れ」3位「書きかけで送信」

チャットあるある 1位「誤字・誤変換」2位「書きかけで送信」3位「大事な内容が他の会話に埋もれてしまう」

web会議あるある 3位「いいことを言ったのにミュートになっている」、2位「会議をすっぽかしてしまう」、1位は？」

仕事におけるオンラインコミュニケーションで多くの人が経験している“あるある”について質問しました。

まず、メールを利用している人（989名）がメールで経験したことがあるものを見ると、1位は「メールで誤字・誤変換」（52.5%）、2位「メールでファイルの添付忘れ」（43.9%）、3位「メールを書きかけで送信」（21.2%）、4位「必死にメールを作っていたのに電話で解決」（17.1%）、5位「大事なメールを誤って削除」（8.4%）となり、メールあるあるの1位は“誤字・誤変換”ということがわかりました。自分が送ったメールの誤字・誤変換に気づき、急いでお詫びのメールを送ったという人は多いのではないのでしょうか。頻発すると信頼の低下にもつながる誤字・誤変換、多忙時に送るメールにも慎重に対応することが大切です。

◆仕事における『メール』で経験したことがあるもの [複数回答形式]

※上位5位までを表示

対象：メールを利用している人

	全体[n=989]	%
1位	メールで誤字・誤変換	52.5
2位	メールでファイルの添付忘れ	43.9
3位	メールを書きかけで送信	21.2
4位	必死にメールを作っていたのに電話で解決	17.1
5位	大事なメールを誤って削除	8.4

次に、チャットを利用している人（605名）がチャットで経験したことがあるものを見ると、1位は「チャットで誤字・誤変換」（33.7%）、2位「チャットを書きかけで送信」（29.9%）、3位「チャットで大事な内容が他の会話に埋もれてしまう」（7.3%）、4位「チャットでムダ話が盛り上がり仕事が滞る」（7.1%）、5位「チャットで上司や顧客に間違っタメ口で送信」（2.6%）となりました。チャットあるあるの1位はメールと同様、“誤字・誤変換”となりました。また、チャットあるあるの2位は“書きかけで送信”でした。チャットには改行しようとしてエンターキーを押すと送信されてしまうものがあるため、文章を改行しようとした際に誤って送信してしまったという人が多いのではないのでしょうか。

◆仕事における『チャット』で経験したことがあるもの [複数回答形式]

※上位5位までを表示

対象：チャットを利用している人

	全体[n=605]	%
1位	チャットで誤字・誤変換	33.7
2位	チャットを書きかけで送信	29.9
3位	チャットで大事な内容が他の会話に埋もれてしまう	7.3
4位	チャットでムダ話が盛り上がり仕事が滞る	7.1
5位	チャットで上司や顧客に間違っタメ口で送信	2.6

そして、web会議を利用している人（724名）がweb会議で経験したことがあるものをみると、1位は「web会議終了後の退出のタイミングに悩む」（11.0%）、2位「web会議をすっぱかしてしまう」（7.0%）、3位「web会議でいいことを言ったのにミュートになっている」（5.9%）、4位「web会議を詰め込み過ぎてしまい仕事が滞る」と「web会議に慣れ出社やクライアント訪問が億劫になる」（どちらも5.8%）となりました。web会議あるあるの1位は“会議終了後の退出のタイミングに悩む”でした。会議終了後に上司や先輩、お客様より先に退出してしまっているかわからないため、退出タイミングに悩んでしまったという人がいるのではないのでしょうか。また、web会議あるあるの3位は“いいことを言ったのにミュートになっている”でした。いいことを言ったとドヤ顔しているときに、他の参加者から『○○さん、ミュートになってます』と言われ赤面してしまったという人もいるのではないのでしょうか。

◆仕事における『web会議』で経験したことがあるもの [複数回答形式]

※上位5位までを表示

対象：web会議を利用している人

	全体【n=724】	%
1位	web会議終了後の退出のタイミングに悩む	11.0
2位	web会議をすっぱかしてしまう	7.0
3位	web会議でいいことを言ったのにミュートになっている	5.9
4位	web会議を詰め込み過ぎてしまい仕事が滞る	5.8
	web会議に慣れ出社やクライアント訪問が億劫になる	5.8

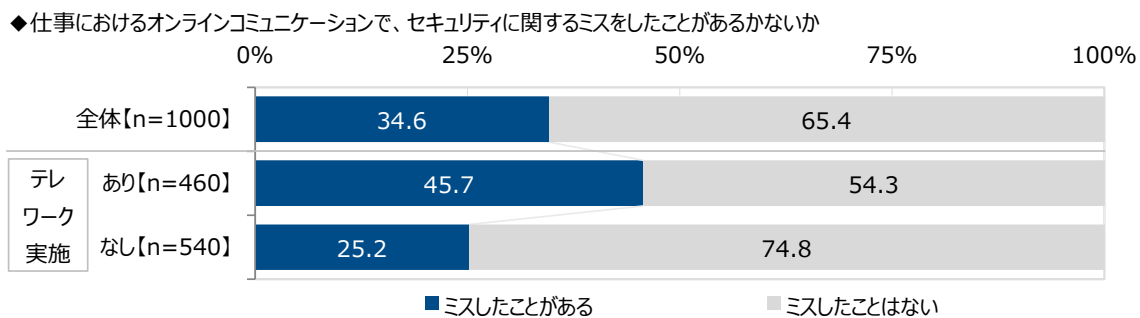


- **オンラインコミュニケーションでのセキュリティに関するミス 35%が経験 テレワーカーでは46%が経験**
- **オンラインコミュニケーションでのセキュリティに関するミス TOP5 「違う相手にメール送信」「メールに違うファイルを添付」「メールでパスをかけずにファイル送信」「違う相手にチャット送信」「メールで送ってはいけないファイルを送信」**

オンラインコミュニケーションでのセキュリティに関するミスについて質問しました。

全回答者（1,000名）に、仕事におけるオンラインコミュニケーションで、セキュリティに関するミスをしたことがあるか聞いたところ、「ミスしたことがある」は34.6%、「ミスしたことはない」は65.4%となり、3人に1人がセキュリティに関するミスを経験していました。

テレワークの実施状況別にみると、テレワークをすることがある人では「ミスしたことがある」は45.7%、テレワークをすることがない人では「ミスしたことがある」は25.2%となりました。

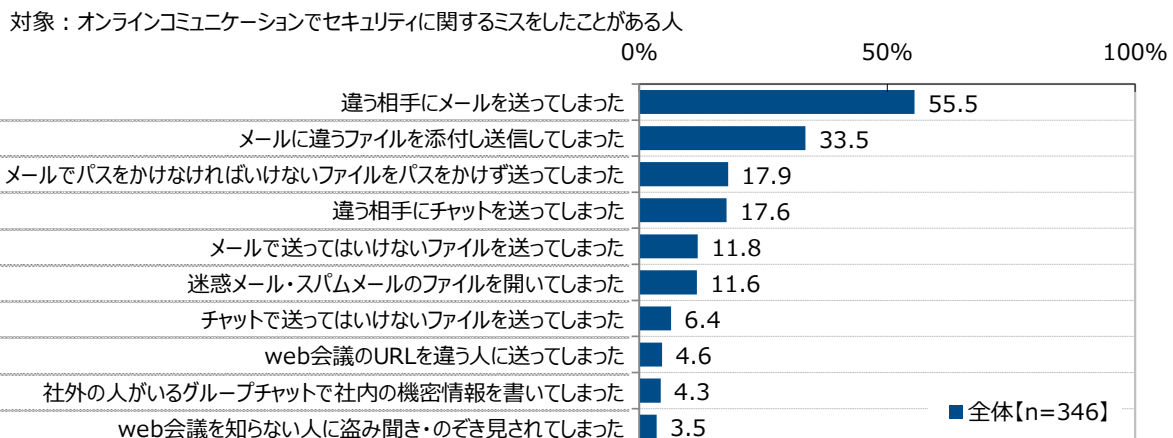


それでは、どのようなミスをしてしまったのでしょうか。

オンラインコミュニケーションでセキュリティに関するミスをしたことがある人（346名）の回答をみると、1位「違う相手にメールを送ってしまった」（55.5%）、2位「メールに違うファイルを添付し送信してしまった」（33.5%）、3位「メールでパスをかけなければいけないファイルをパスをかけずに送ってしまった」（17.9%）、4位「違う相手にチャットを送ってしまった」（17.6%）、5位「メールで送ってはいけないファイルを送ってしまった」（11.8%）と、上位3位をメールに関するミスが独占する形となりました。さらに、「迷惑メール・スパムメールのファイルを開いてしまった」（11.6%）が6位となり、メールでのミスが続きました。コロナ禍前と比較したコミュニケーションの変化に関する質問では6割以上の方が「報・連・相をしづらくなった」と回答しました。怪しいメールのファイルを開いてしまったらすぐに報告や相談ができないことで対応が遅れ、大きなセキュリティ事故になってしまうというケースもあるのではないのでしょうか。

また、チャットでのミスでは、「チャットで送ってはいけないファイルを送ってしまった」（6.4%）や「社外の人がいるグループチャットで社内の機密情報を書いた」（4.3%）がTOP10にランクインし、web会議のミスでは「web会議のURLを違う人に送ってしまった」（4.6%）や「web会議を知らない人に盗み聞き・のぞき見されてしまった」（3.5%）がTOP10にランクインしました。

◆仕事におけるオンラインコミュニケーションでやってしまったセキュリティに関するミス【複数回答形式】 ※上位10位までを表示



## 《オンラインコミュニケーション関連のイメージに合う有名人・アニメキャラ》

- **web会議で画面越しに見るだけでもドキドキしそうな芸能人 1位「木村拓哉さん」**  
**男性回答1位「綾瀬はるかさん」2位「新垣結衣さん」、女性回答1位「佐藤健さん」2位「木村拓哉さん」**
- **運動不足になりがちなテレワーク、一緒に身体を動かしたいスポーツ選手 3位「水谷隼さん」、2位「石川佳純さん」、1位は？**

オンラインコミュニケーションに関連する内容のイメージに合う芸能人・スポーツ選手・歴史上の人物・アニメキャラについて自由回答形式で質問しました。

全回答者（1,000名）に、web会議で画面越しに見るだけでもドキドキしそうな芸能人を聞いたところ、1位「木村拓哉さん」（29名）、2位「綾瀬はるかさん」（26名）、3位「佐藤健さん」（23名）、4位「新垣結衣さん」（22名）、5位「福山雅治さん」（20名）となりました。デビューから30周年を迎えた木村拓哉さんが1位でした。

男女別にみると、男性回答では1位「綾瀬はるかさん」、2位「新垣結衣さん」、3位「橋本環奈さん」となり、女性回答では1位「佐藤健さん」、2位「木村拓哉さん」、3位「福山雅治さん」でした。

◆web会議で画面越しに見るだけでもドキドキしそうな芸能人 【自由回答形式】 ※上位10位までを表示

全体【n=1000】			男性【n=500】			女性【n=500】		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	木村拓哉	29	1位	綾瀬はるか	21	1位	佐藤健	22
2位	綾瀬はるか	26	2位	新垣結衣	20	2位	木村拓哉	21
3位	佐藤健	23	3位	橋本環奈	15	3位	福山雅治	16
4位	新垣結衣	22	4位	深田恭子	11	4位	斎藤工	15
5位	福山雅治	20	5位	有村架純	10	5位	竹野内豊	13
6位	橋本環奈	17	6位	広瀬すず	8	6位	吉沢亮	12
7位	竹野内豊	16	7位	石原さとみ	8	7位	西島秀俊	9
8位	斎藤工	15		木村拓哉	8		綾野剛	7
9位	吉沢亮	13	9位	タモリ	7	8位	横浜流星	7
10位	深田恭子 / 石原さとみ	10		長澤まさみ	7		櫻井翔	7

テレワークが続くと、通勤で歩くことがなくなり運動不足になりがちです。

そこで、全回答者（1,000名）に、一緒に身体を動かしたいスポーツ選手を聞いたところ、1位「大谷翔平さん」（211名）、2位「石川佳純さん」（10名）、3位「水谷隼さん」（9名）、4位「錦織圭さん」（8名）、5位「本田圭佑さん」（7名）となりました。今シーズン、リアル二刀流で大活躍だった大谷翔平さんがダントツという結果となりました。

◆一緒に身体を動かしたいスポーツ選手 【自由回答形式】

※上位10位までを表示

順位	名前	名
1位	大谷翔平	211
2位	石川佳純	10
3位	水谷隼	9
4位	錦織圭	8
5位	本田圭佑	7
6位	浅田真央	6
	長友佑都	6
8位	内村航平	5
9位	羽生結弦 / 三浦知良 大坂なおみ	4



- **報・連・相がしづらいテレワーク、積極的に部下に声掛けをしてくれそうな歴史上の人物** 1位「徳川家康」2位「坂本龍馬」
- **孤独を感じがちテレワーク、テレワーク中に隣にいてほしいアニメキャラ** 1位「ドラえもん」がダントツ、2位「竈門炭治郎」

コロナ禍前と比較したコミュニケーションの変化についての質問では、75%の人が「コミュニケーションの取りやすさが低下した」と回答し、63%の人が「報・連・相がしづらくなった」と回答しました。テレワークでは、上司の状況がつかみづらく、報・連・相もしづらくなっています。そんなときに、上司のほうから部下に声をかけると部下は安心して報・連・相しやすくなるのではないのでしょうか。

そこで、全回答者（1,000名）に、積極的に部下に声掛けをしてくれそうな歴史上の人物を聞いたところ、1位は「徳川家康」（72名）、僅差で2位は「坂本龍馬」（71名）、3位「豊臣秀吉」（66名）、4位「織田信長」（65名）、5位「聖徳太子」（35名）となりました。また、NHK大河ドラマ『青天を衝け』の主人公である「渋沢栄一」が「明智光秀」と並んで（どちらも19名）6位でした。

男女別にみると、男性回答では1位「織田信長」、2位「豊臣秀吉」、3位「徳川家康」となり、女性回答では1位「坂本龍馬」、2位「徳川家康」、3位「豊臣秀吉」となりました。

◆積極的に部下に声掛けをしてくれそうな歴史上の人物 [自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体【n=1000】			男性【n=500】			女性【n=500】		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	徳川家康	72	1位	織田信長	38	1位	坂本龍馬	47
2位	坂本龍馬	71	2位	豊臣秀吉	35	2位	徳川家康	39
3位	豊臣秀吉	66	3位	徳川家康	33	3位	豊臣秀吉	31
4位	織田信長	65	4位	坂本龍馬	24	4位	織田信長	27
5位	聖徳太子	35	5位	聖徳太子	21	5位	聖徳太子	14
6位	渋沢栄一	19	6位	明智光秀	11	6位	渋沢栄一	13
	明智光秀	19	7位	西郷隆盛	7	7位	西郷隆盛	9
8位	西郷隆盛	16		渋沢栄一	6	8位	明智光秀	8
9位	武田信玄	10	8位	武田信玄	6	9位	伊達政宗	5
10位	伊達政宗 / 福沢諭吉	8		福沢諭吉	6	10位	マザー・テレサ/伊藤博文/上杉謙信/武田信玄	4

また、テレワークを行っていると同僚と雑談することもなくなり、孤独を感じてしまうという人は多いのではないのでしょうか。

そこで、全回答者（1,000名）に、テレワーク中に隣にいてほしいアニメキャラを聞いたところ、1位「ドラえもん（ドラえもん）」（177名）、2位「竈門炭治郎（鬼滅の刃）」（28名）、3位「モンキー・D・ルフィ（ONE PIECE）」（24名）、4位「江戸川コナン（名探偵コナン）」（23名）、5位「ピカチュウ（ポケットモンスター）」（19名）と、ドラえもんがダントツでした。テレワークで困ったことが出てきた際に、隣にドラえもんがいれば助けてもらえると思う人が多いのではないのでしょうか。

男女別にみると、男性回答では1位「ドラえもん」、2位「モンキー・D・ルフィ」、3位「孫悟空」となり、女性回答では1位「ドラえもん」、2位「竈門炭治郎」、3位「江戸川コナン」となりました。

◆テレワーク中に隣にいてほしいアニメキャラ [自由回答形式] ※上位10位までを表示

全体【n=1000】			男性【n=500】			女性【n=500】		
順位	名前	名	順位	名前	名	順位	名前	名
1位	ドラえもん (ドラえもん)	177	1位	ドラえもん (ドラえもん)	89	1位	ドラえもん (ドラえもん)	88
2位	竈門炭治郎 (鬼滅の刃)	28	2位	モンキー・D・ルフィ (ONE PIECE)	16	2位	竈門炭治郎 (鬼滅の刃)	19
3位	モンキー・D・ルフィ (ONE PIECE)	24	3位	孫悟空 (ドラゴンボール)	10	3位	江戸川コナン (名探偵コナン)	18
4位	江戸川コナン (名探偵コナン)	23	4位	竈門炭治郎 (鬼滅の刃)	9	4位	ピカチュウ (ポケットモンスター)	13
5位	ピカチュウ (ポケットモンスター)	19	5位	ピカチュウ (ポケットモンスター)	6	5位	モンキー・D・ルフィ (ONE PIECE)	8
6位	孫悟空 (ドラゴンボール)	12	6位	江戸川コナン (名探偵コナン)	5	6位	ルパン三世 (ルパン三世)	6
7位	ルパン三世 (ルパン三世)	9		トニートニー・チョッパー (ONE PIECE)			アンパンマン (それいけ!アンパンマン)	
8位	アンパンマン (それいけ!アンパンマン)	7	7位	フグ田サザエ (サザエさん)	4	7位	スヌーピー (PEANUTS スヌーピー)	4
	トニートニー・チョッパー (ONE PIECE)			坂田銀時 (銀魂)			プー (くまのプーさん)	
	フグ田サザエ (サザエさん)			煉獄杏寿郎 (鬼滅の刃)			ムーミンロール (ムーミン)	
	坂田銀時 (銀魂)						リラックマ (リラックマとカオルさん)	

## 「調査概要」

- ◆調査タイトル : オンラインコミュニケーションに関する調査2021
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
全国の20歳～59歳のビジネスパーソン（自営業・フリーランスは除く）で  
週に3日以上オンラインコミュニケーションツール（※）を利用している人  
※メール・web会議システム・チャットのいずれか
- ◆調査期間 : 2021年11月19日～11月22日の4日間
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳)

	20代	30代	40代	50代	計
男性	125s	125s	125s	125s	500s
女性	125s	125s	125s	125s	500s

- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

### ■■ 報道関係の皆様へ ■■

**本ニュースレターの内容を転載される際は  
「(株)クオリティア調べ」と付記のうえ  
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。**

### ■■ 本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先 ■■

株式会社クオリティア 営業本部マーケティング部 担当：稲垣  
TEL：03-5623-2532 E-mail：[press\\_pr@qualitia.co.jp](mailto:press_pr@qualitia.co.jp)

### ■■ 会社概要 ■■

- 社名 : 株式会社クオリティア（英名：QUALITIA CO., LTD.）
- 代表取締役名 : 松田 賢
- 設立 : 1993年10月
- 本社所在地 : 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-11-10 PMO 日本橋茅場町
- 事業内容 : メッセージング関連ソリューションの開発・販売
- ホームページ : <https://www.qualitia.co.jp/>